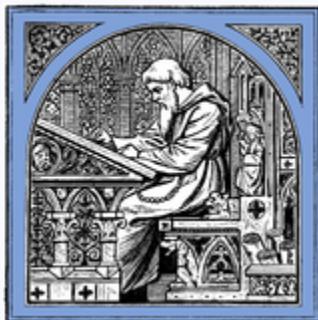


Textbook of Japanese History for Elementary School on 1943 vol 1.pdf/77



2024年9月7日にウィキソースから書き出されました。

このページは校正済みです

やぐちのわたし

矢口渡でたふれました。

かうして勤皇の武將は、吉野の櫻のやうに、いさぎよく大君のために散りました。後村上天皇の御おんのち、
〈第九十八代〉長慶ちやうけい天皇・〈第九十九代〉後龜山ごかめやま天皇の御代となりましたが、これらの忠臣は、黒雲のやうにむらがる賊の軍勢を破つて、つねに大義の光をかがやかしました。「歌書よりも軍書に悲し吉野山」といふやうに、まことに御おん四代五十七年間いくさものがたりの吉野山は、
壯烈な軍物語で満たされてゐます。

今、吉野神宮にお参りして、六百年の昔をしのぶ時、谷をうづめて咲く花は、これら忠臣たちが、後醍醐天皇の御みたま靈を、いつの世までもおまもり申し、おなぐさめ申しあげてゐるやうに思はれます。その忠臣たちも、朝廷から高い位をたまはり、今は神として、それぞれ社にまつられ、國民に深くうやまはれてゐます。

第七 八重やへの潮路しほぢ

一 金閣きんかくと銀閣ぎんかく

もともと足利氏あしかがは、欲よくに目がくらんで、朝廷にそむきたてまつり、利りを以て軍勢を集めたのです。従つて賊

軍は、いつも見苦しい内わもめをくりかへして來ました。^{たかうぢ}尊氏の孫^{よしみつ}義滿になつて、やつと部下のわがままをおさへることが、できるやうになりましたので、後龜山天皇に、おわびして、京都へお歸りくださるやう、ひたすらお願い申しあげました。

天皇は、義滿の願ひをお聞きとどけになつて、めでたく京都に還^{くわん}

About this digital edition

This e-book comes from the online library [Wikisource](#)^[1]. This multilingual digital library, built by volunteers, is committed to developing a free accessible collection of publications of every kind: novels, poems, magazines, letters...

We distribute our books for free, starting from works not copyrighted or published under a free license. You are free to use our e-books for any purpose (including commercial exploitation), under the terms of the [Creative Commons Attribution-ShareAlike 3.0 Unported](#)^[2] license or, at your choice, those of the [GNU FDL](#)^[3].

Wikisource is constantly looking for new members. During the realization of this book, it's possible that we made some errors. You can report them at [this page](#)^[4].

The following users contributed to this book:

- CES1596
- Akaniji

1. [↑https://wikisource.org](https://wikisource.org)
2. [↑https://www.creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0](https://www.creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0)
3. [↑https://www.gnu.org/copyleft/fdl.html](https://www.gnu.org/copyleft/fdl.html)
4. [↑https://wikisource.org/wiki/Wikisource:Scriptorium](https://wikisource.org/wiki/Wikisource:Scriptorium)